

## 育児休業取得状況等報告書

### 【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社八島建設
<p>2 貴社の取組状況について</p> <p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 育休を取ることが当たり前になることで、男性も育児を担いやすくなり、職場全体のワークライフバランスが向上すると考えたのかきっかけである。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 男性育休をとるにあたり、育休に対して、上司や同僚の理解を進めて本人に罪悪感を抱かせない環境作りに取り組んだ。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 育休取得者の業務を誰が担うのか不明確で、同僚への負担が増えることへの懸念があった。そのため育休取得前に業務の引き継ぎを徹底した。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 担当者を決めることで、業務の継続性を確保した。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 育休取得者の体験談を社内で共有し、育休取得を当たり前の文化として定着させる取り組みを行っている。</p>	

### 【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 30 日間 (5/3～6/1)
<p>2 育児休業の取得について</p> <p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 「子どもの成長を間近で見守りたい」「育児に積極的に関わりたい」という思いから育休を取得した。また、初めての子どもが生まれるタイミングであったため、育休を決断した。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 育休を取得することで、育児の大変さを、身をもって経験できたことで、育児に対する理解が深まった。育休後も積極的に育児に関わる姿勢が大切だと理解した。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 業務内容をリスト化し、誰がどの業務を担当するのかを明確にした。業務フローを文書化することで、引き継ぎ後の混乱を防ぐことができた。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育児では、子どもの世話、家事、スケジュール管理などを同時にこなす必要があるため、この経験を通じて、業務でも複数のタスクを効率的に処理する能力が向上した。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育児休業を取得する場合、職場への報告や業務の引き継ぎが必要になる。そのため、できるだけ早めに上司や同僚と相談し、スケジュールを調整することが必要である。</p>	